

2001 年度春の合宿セミナーのお知らせ（第 2 号通信：登録受け付け）

成蹊大学工学部 岩崎 学

今年度で第 4 回目となる日本行動計量学会・春の合宿セミナーを下記の要領で開催します。今回のセミナーは、グループリーダーを中心に、テーマを決めた学習、討論を主体に実施します。常々疑問に思っている事柄の解明、あるいは新しい分野の開拓のための絶好の機会ですのでぜひご参加ください。

宿泊しての参加を原則としますが、通いでも構いません（研修所はきれいで清潔。宿泊は個室です）。なお、参加登録は先着順とし、12 月中は行動計量学会員のみ優先的に登録します（非会員の方も早めにお申し込み下さい。2002 年 1 月以降に申し込み順に登録します）。

なお、行動計量学会非会員であっても申し込み時に入会の意思を表明された方は会員扱いとし、優先的な受付を会員価格の参加費で行ないますので、この機会に学会への入会をご検討ください。

記

日 時：2002 年 3 月 21 日（木、祝日）13:30～3 月 22 日（金）17:00（1 泊 2 日）

会 場：安田生命アカデミア（東京都府中市日鋼町 1-40）

TEL: 0423-51-8311, FAX: 0423-51-8316

JR 武蔵野線北府中駅より徒歩 10 分、京王線府中駅より徒歩 20 分

参加費：当日ご持参下さい。

1 泊 2 日 3 食（1 日目の夕食，2 日目の朝食，昼食）：

会員：15,000 円，非会員：20,000 円，学生：12,000 円

宿泊なし・2 日目の昼食：

会員：8,000 円，非会員：12,000 円，学生：5,000 円

テーマ：「交流」しましょう

定 員：宿泊人数制限 50 名（宿泊なしも可）

申込方法：次の情報と共に岩崎まで郵送，FAX，E-mail でお申し込み下さい（電話不可）。

氏名，所属（住所，電話番号，E-mail），会員・非会員・学生（含：大学院生）の別，宿泊の有無，小グループの希望（グループリーダー名あるいはキーワードにより第 1，第 2，第 3 希望まで）

申込締切：宿泊は定員になり次第締切

申込先：

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊大学工学部 経営・情報工学科

岩崎 学

FAX: 0422-37-3871, E-mail: iwasaki@is.seikei.ac.jp

プログラム（予定）

3月21日(祝・木)

13:30：開会の挨拶および事務連絡

13:40 - 16:00：基調講演と討論

岩崎 学 (成蹊大)「処置前 - 処置後データと平均への回帰」

岡太彬訓 (立教大)「実践 MDS とクラスター分析」

狩野 裕 (大阪大)「反復測定データの分析」

繁榎算男 (東京大)「因果関係の分析」

村上 隆 (名古屋大)「質問紙による心理尺度構成の概念と方法」

16:00 - 17:30：各グループ別の学習・討論

18:00 - ?：夕食，懇親会，学習・討論の続き・・・

3月22日(金)

09:00 - 12:00：各グループ別の学習・討論

12:00 - 13:00：昼食

13:00 - 14:00：成果発表の準備

14:00 - 17:00：学習・討論の成果発表，飛び入り講演，その他のイベント・・・

17:00：解散

小グループリーダーとテーマ

繁榎算男 (東京大): 因果関係の分析

(キーワード：因果関係)

因果関係を分析する方法について，実験的方法，準実験の方法，相関的方法について，その特徴と留意点について考える．具体的には，因果関係とは，二つの実験条件における結果の差として定義し，その定義から，実験的方法において，その差を推定する無作為化の方法，準実験において，実験前に存在する共変数の差の調整の方法，さらに，この因果関係の分析を相関関係にまで拡張し，それを分析する方法を提案する．

村上 隆 (名古屋大): 質問紙による心理尺度構成の概念と方法

(キーワード：尺度構成)

複数の質問項目に対する反応を合成して尺度を構成する方法について，測定の信頼性と妥当性の概念と，多変量解析，特に「因子分析」と数量化 Ⅱ 類の使用について．とりわけ，実際の研究の実例について，実際の・実践的に議論する．

岡太彬訓 (立教大): 実践 MDS とクラスター分析

(キーワード：MDS)

Windows 版に改訂した MDS とクラスター分析のプログラム(現在は 共立出版より MS-DOS

版を販売中) を使って, MDS やクラスター分析の利用方法と留意点を考える. 参加者各自で分析するためのデータを持参することができれば好都合である.

狩野 裕 (大阪大): 反復測定データの分析

(キーワード: 反復測定)

反復測定データは, 行動計量学のみならず多くの場面で現れる. ここでは, 分散分析 (ANOVA) と球状検定, 多変量分散分析 (MANOVA), 構造方程式モデル (SEM), 混合モデル (mixed model) 等による解析法ならびにそれらの相互の関係を議論する.

岩崎 学 (成蹊大): 「処置前 - 処置後」データの解析と平均への回帰

(キーワード: 処理前後)

「処置前 - 処置後」データ (pretest-posttest data, test-retest data) は, 教育関係では講義前のテストと講義後のテストにより学生の理解度を調べる, あるいは新薬開発の臨床試験では薬剤投与前と投与後の計測値の比較により薬剤の効果を調べる, などのように日常のデータ解析で多くみられる. この種のデータ解析では「平均への回帰」(regression towards the mean) の現象が不可避免的に生じ, データの解釈には注意が必要である. ここではそのあたりの事情を詳しく調べる.

照会先:

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊大学工学部 経営・情報工学科

岩崎 学

FAX: 0422-37-3871, E-mail: iwasaki@is.seikei.ac.jp